

全国産業人の絆

— 全国大会開催 —
2024年11月18・19日 幕張メッセ

全国28クラブから290人が集結



主催者あいさつで国内外の政治情勢に強い懸念を示した日本産業人クラブ連合会・井水会長

日本産業人クラブ連合会（事務局：日刊工業新聞社）は2024年11月18、19日に全国の産業人クラブ会員が集う「産業人クラブ全国大会 in ChIBA」を幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区）で開いた。2019年10月の新潟市での全国大会以来、コロナ禍を挟んで5年ぶり2回目の開催となった。全国28の産業人クラブから会員企業や関係者約290人が参加。初日は講演のほか、新たな試みとしてビジネスマッチングの機会を多く設けた。

産業人クラブ全国大会の初日は井水治博日本産業人クラブ連合会会長（日刊工業新聞社社長）の主催者あいさつから始まった。井水会長は「わが国産業界を取り巻く環境は大変厳しいものがある。米国で25年1月にトランプ次期政権が発足し、日米関係がどうなるか。一方で、24年10月の衆議院選挙で自民党と公明党が少数与党となり、不安定な政権運営を余儀なくされる」と国内外の政治情勢に強い懸念を示した。次にキッコーマンの堀切功章会長が基調講演した。千葉県野田市のローカル企業からナショナル企業、さらにはグローバル企業に成長した軌跡を振り返り、北米市場のモノづくり、人づくりを動画で紹介。堀切会長は「我々は米国でゼロからマーケットをつくっている。需要とは要請を説明した。」

またプロシエクター用の反射鏡で9割超の世界シェアを持つ岡本硝子の岡本毅会長兼最高経営責任者（CEO）、全国大会実行委員長は「町工場の世界制覇戦略」をテーマに講演。埼玉県警の刑事部長から町工場の社長に転身した経緯に触れながら、「警察も企業経営も現場の重視と冷静な判断が必要」と話した。

さらに会場を分けてピッチイベントと個別商談会、全国会長会議を開いた。ピッチイベントは、ナルビー（業種：刃物製造の古川昇一郎常務、アイ・メテックス（同：医療機器製造）の市田誠社長、ナノテックシミュレーション（同：医療機器認証）のシュビンドラー千恵子社長、ナノテック（同：表面処理の中森秀樹社長、リンクメッド（同：放射性医薬品）の吉井幸恵社長、新日本繊維

ビジネスマッチング活発に



幕張メッセ国際会議場で開かれた産業人クラブ全国大会ビジネス交流会
●東京産業人クラブ寺町会長の首領で乾杯 ●歓談する会員

（同・物質材料研究）の深沢裕社長は千葉県内6社が登壇。各社とも事業の優位性をアピールした。

初日の最後は千葉県産の食材をふんだんに取り入れた料理によるビジネス交流会を実施。千葉県出身のフルート奏者林愛実さんの演奏で会場内に参加者を迎え入れた。白鳥豊千葉産業人クラブ会長（白鳥製薬会長）、熊谷俊一千葉県知事、神谷俊一千葉市長らがいっしょに、東京産業人クラブの寺町彰博会長（THK会長）が乾杯の首領をとった。

その中で、寺町会長は「これからAI（人工知能）とロボットの時代を迎える。日本はかつてロボット大国と言われたが、今や韓国は1万人の従業員当たり1000台のロボットが活動している。それに対して、日本は400台しか動いていない。世界で見れば第4位であり、もうすぐ中国に抜かれて5位になってしまつと日本の立ち位置に警鐘を鳴らした。

その上で、AI・ロボット時代を生きる人間の存在意義について「五感を使って、人と触れ合つてコミュニケーションを、後、プロバスケットボールチーム千葉ジェッツのチャリディングで参加企業にエールを送つて、大阪産業人クラブの千歳喜弘会長（KRI特別顧問）の中締めで終了した。

2日目は会員などが3班に分かれて、鉄鋼大手JFEエスチールの東日本製鉄所・千葉地区の工場見学、袖ヶ浦カンツリックラフでの懇親ゴルフコンペ、東京アイズニッシー見学にそれぞれ参加して交流をさらに深めた。

ピッチイベント開催

ピッチイベントは2部屋に分かれて開催された。各社はそれぞれ約13分が割り当てられ、内訳は5分間のプレゼンと8分の質疑応答だった。ピッチAは「創業から数十年以上、常に顧客ニーズを捉え、進化を遂げるモノづくり企業のイチ押しポイント」をテーマに、ナルビーの古川昇一郎常務、アイ・メテックスの市田誠社長、ナノテックシミュレーションのシュビンドラー千恵子社長が登壇した。ナルビーの古川常務は「安心・安全な未来へ繋げるスクレーパー」、アイ・メテックスの市田社長は「医療から農業へ」、ナノテックシミュレーションのシュビンドラー社長は「製造者必見！医療機器市場参入ガイダンス（求められる安全性評価とは）」について自

モノづくり進化へ熱いプレゼン



社の強みなどを熱く語った。ピッチAのモデレーターは日刊工業新聞社の竹本佑介常務が充てられた。ナノテックの中森秀樹社長、リンクメッドの吉井幸恵社長、新日本繊維の深沢裕社長が登壇した。ナノテックの中森社長は「核融合科学へのDLCコーティング寄与の可能性」、リンクメッドの吉井社長は「見えるがん治療薬」でがん医療の未来に「イッちゃー」、新日本繊維の深沢社長は「近未来のリアルサイクル事業のあり方」について来場者へそれぞれ訴えかけた。モデレーターはクレーイーエフ（業種：ゴム部品製造）の伊与久義武社長が務めた。

- 宮城産業人クラブ
- 山形産業人クラブ
- 福島産業人クラブ
- 茨城産業人クラブ
- 栃木産業人クラブ
- 群馬産業人クラブ
- 埼玉産業人クラブ
- NITEC埼玉産学交流会
- TDU産学交流会
- 千葉産業人クラブ
- 東京産業人クラブ
- 東京マネジメント研究会
- 城北産業人クラブ
- 東京産学交流会
- 多摩産業人クラブ

千葉でつながる

大分産業人クラブ